

1月22日から23日にかけて、低気圧の移動に伴い太平洋沿岸地域に大雪の予報が出されました。

テレビからは東京から、横浜から、次々と雪の降り積もる便り、交通事故、帰宅に足を奪われる人々等々、矢継ぎ早の報道が絶えませんでした。

23日朝 わが寺田縄の白いベールに覆われた純白の姿をと、8時30分ごろ家を飛び出しました。 その報告です



冬の水田です。1反歩の約半分ほどの面積、薄い雪に覆われています。
南からの風が知らされる雪の跡です。



深い雪を探すと、この通り。テレビの画面からは程遠い様です。



富士山です。白い山頂が僅かに望めます。
雪はどこ、どこに……。見当たりません。



大山のわずかな薄化粧を望みます。

今年は、積雪がほとんど見られません。富士山の裾野を覆う雪はまだありません。大山もしかりです。

地元の小・中学校は、積雪による危険を避けようと、登校時刻を繰り下げる対策を取りました。早朝、冷たい風が吹きましたが、残雪はご覧の通りで、登校条件はいつもと変わりませんでした。

平塚市は気象条件の良い地方です。今回の大雪の予報を体験して、一層感じさせられました。